

たかはま
だからこそできる
すてきな
まちづくり

「参加できることから少しずつ」
「できるいっしょから」

「行っつよが長続きの「コツ」

吉浜北部保育園の横にある「ふれあい農園」では吉浜まちづくり協議会の皆さんと園児たちがいっしょになって野菜を育てています。農園作業に参加している板倉さん(呉竹町)に活動についてお話を伺いました。

子どもといっしょに

参加しています

私自身も、もともと農業に興味があったのですが、吉浜まち協の食育活動参加者募集というチラシ

を見て、子どもたちにも体験してほしいと思い連絡し、今では週1回行われている活動に5歳の子どもといっしょに参加しています。

ふだんとは違った体験を

子どもの反応としては、ふだんとは違った体験ができるので非常に喜んでいきます。育てている野菜はもちろんなこと、ミミズや土など自然に触れる機会はいい経験になっていると感じています。

また、いっしょに作業しているまち協の方ともおしゃべりして、い

ろいろなことを学ばせていただいています。

深く考えないことが

大事なときもある

いま行っている活動が「まちづくり活動」だと全然感じていませんでした。園児たちの食育活動の支援をしている「まちづくり」という感覚がなかったです。

いまでは、自分の参加できる活動から参加する、それがまちづくり活動の1歩であると感じています。あまり深く考えず、できることから行うことが長続きのコツではないでしょうか。園児と活動することや農園の野菜を枯らすことなく育てているのは、まち協の方がしっかりと手入れやサポートしてくれているからであると思っています。

園児が自分で野菜を育てながら地域の方とも交流できる。これは地域活動や主体がしっかりしているたかはまだからこそできる活動ではないでしょうか。

▲ふれあい農園で育てた野菜を園児たちといっしょに食べました(夏野菜の収穫祭にて)。自分で作った野菜が給食になり園児たちは大喜び。好き嫌いをせず食べていましたよ。

ふれあい農園の活動

市が実施していた事業のうち、地域で取組んだほうが良いことがらに関しては、「移譲事業」として必要な権限と財源を地域へお渡ししています。ふれあい農園も移譲事業であり、地域内分権を進める高浜市の特徴ともいえます。



① まち協の方といっしょにたまねぎを収穫。地域の人とふれあうきっかけにもなっています。



②③ ふれあい農園で育てた野菜をお店や市長室に届けました。



問合せ先 総務総合政策グループ ☎ 52-1111 (内線 339)